

「むかしの勉強・むかしの遊び」展

今回の展示は、昭和30〜40年代の遊びや暮らし、学校生活の様子を展示・再現しています。この年代は、同39年（1964）の東京オリンピック開催前後の時期にあたり「いざなぎ景気」と呼ばれた日本の高度経済成長期です。当時、カラーテレビ、クーラー、自動車は「新・三種の神器」と呼ばれ、人々の豊かな生活の象徴であり、努力すれば手が届く夢の商品でした。

当時の川越は、同32年に上江橋が^{かみこうばし}開通し、同39年には国道16号バイパスの工事により、周辺に工業団地や住宅地が造成され首都圏の近郊都市として大きく発展しました。今回は、当時の川越のまちを軽快に走り抜けていた、三輪自動車を展示します。きつとノスタルジックな気分になることができるでしょう。入館チケットを手に、ひとときの時間旅行に出かけてみませんか。

日程：1月17日(土)〜3月1日(日) 経費：入館料



オート三輪ダイハツミゼット MP5 (昭和39年製造)



展示室の一角には、家族で遊んだ懐かしい昭和のゲームを展示します



川越で繁殖から飼育、加工、販売まで行われている「小江戸黒豚」をご存じですか。加工されたハムやソーセージなどは、小江戸川越観光協会が認定するブランド産品(川越セレクション)に認定されています。

養豚を始めて30年以上になる、^{おおのけんじ}大野賢司さん(谷中)の農場では、約1,000頭の豚を飼育しています。そのうち約8割は、デリケートな純粋種(パークシャー種)の黒豚。あまり大きくならないため飼育に時間がかかりますが、肉に甘みがあり、口の中でとけるような舌触りになるのが特徴です。

味を追求して天然の飼料にこだわり、現在はサ

川越産黒豚

ツマイモなどを配合しているそうです。また、加工や販売を農業の延長と捉え、川越産黒豚の魅力発信を続ける大野さんは、一昨年、黒豚を使った料理を提供するレストランをオープン。「直接お客さんの顔が見え、声が聞けるのが嬉しいです。『おいしい』の一言が糧になります」と話します。



豚は皮膚呼吸できないので、温度・湿度の管理に気を遣いますね

今が旬！1月の川越野菜 市内の直売所などで購入できます

コマツナ、ブロッコリー、ハウレンソウ、ニンジン、ネギ、ハクサイ、サトイモ、イチゴ、菜の花、カブ、ゴボウ、ダイコン、サニーレタス、キャベツ、ミズナ



寒空でも生き生きと咲いています

年 賀状、お年玉、七草がゆ、鏡開き、皆さんは新たな一年の始まりをどのようにご過ごしましたか。お正月気分がすっかり落ちついた頃には寒さが一番厳しくなる「大寒」の時期がやってきます。子ども頃は、バケツに張った水、畑にできた霜柱、曇った窓ガラスなど、寒さのなかにたくさんのお楽しみを発見していました。キンと冷えた空気が、いつい外出が面倒になってしまいがちですが、空気が澄み遠くの山並みや星空がきれいに見えるのもこの時期。思い切って外に出てみると、思いがけず冬の美しい風景に出会えるかもしれません。

編集後記
どんぐり